

# 北足立北部退職校長会 会員だより

第 40 号

発行責任者 完  
石 原 吉  
印刷所 野 印 刷

## やりたい仕事ができる環境を

会 長 石 原 完

会員の皆様方には、常日頃より本会の諸事業にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

今年度の事業も順調に推移いたしました。但し、「懇親旅行」は、台風のため苦渋の決断で中止とさせていただきます。担当していただいた浦副会長さん、山口委員長さん、並びに懇親旅行委員の皆様には大変なご苦労をおかけいたしました。

また、キャンセル料も発生し、参加を予定していた会員の皆様にもご迷惑をおかけし、改めてお詫び申し上げます。

さて、今、教職員の長時間勤務が問題となり、国の「働き方改革」の推進に伴い、学校でも「タイムレコーダー」や「時間外の留守番電話」が導入され、「部活動の練習日の制限」等の様々な措置も進められています。私たちが勤務していた頃の学校とは大きく異なっ

た雰囲気のある学校となってきたのではないのでしょうか。

教職員の多忙感を解消し、適正な勤務時間内で仕事ができることは当然必要なことですが、最も重要なことは、先生方がやりたい仕事（子どもとの触れ合いを含んだ様々な教育活動や専門分野や得意分野の教材研究等）が十分にできる環境を整えてやることではないでしょうか。

国の「新しい時代の教育に向けた学校における働き方改革に関する総合的な方策（中間まとめ）」で、「基本的には学校以外が担う業務」等を明示し、業務の役割分担適正化の提案がされていますが、それらの方策が、社会の理解を得て本当に実現されるか疑問を感じます。

「やりたい仕事ができる」、退職校長会もそのような視点で応援していただいたいと考えています。

## 謙虚な運営で充実

副会長 清水 保 義

平成三十年度も残すところ僅かになりました。そして、平成という時代も終わりに向かいます。

それにつけても、この平成という時代を、後世の人はどう表現するのでしょうか。個人的には人類の思い上がりや地球が・自然が、警鐘を鳴らした時代だと考えています。地震・津波による大規模災害を始め海面水位の上昇や急峻な宅地の土砂崩れ被害等、自然との共生と言うより、人間のおごりのような開発や温暖化に、謙虚さを忘れた人間の傲慢さを感じています。

北足立北部退職校長会の活動は、石原会長の謙虚で温和人柄によるリーダーシップの発揮で、多くの事業を成功裏に、しかも充実して推進できています。会員各位の参加を得て、一つの事業が進められましたことは、担当役員の準備、頑張りのもとよりですが、会員の積極的参加によるものだと考えます。自然の猛威により、安全第一を考え、重要事業を中止せざるを得なかったことも、またそういう決断をしたことも、高く評価されて良いと考えます。

このような退職校長会の活動が、更に充実し発展することを祈念し挨拶いたします。

## 懇親旅行と台風二十四号

副会長 浦 和 彦

本年度の北足立北部退職校長会恒例の懇親旅行は、千葉県鴨川方面に出掛ける予定でした。

参加人数二十八名、すべての準備が整い出発するのみの状況にありました。九月三十日、十月一日の設定が悪かったのか台風二十四号に遭遇することとなりました。毎日のように列島縦断、関東直撃の報道がなされ、実施三日前に中止の決断を余儀無くされました。

そのため企画手配料、取り消し料等、30%のキャンセル料が発生しました。楽しみにしていた旅行が中止となり、その上、キャンセル料の一部ご負担をお願いするという誠に申し訳ないこととなりました。

台風二十四号は、浸水、強風による家屋の損壊、倒木、土砂災害、停電等、大きな爪痕を残しました。また、首都圏では、JR初の計画運休となり四十六万人に影響を与えました。

後日、反省会を開きその中で、もう少し時期をずらすこと、年輩の先生方が参加しやすいように日帰り旅行も検討してもよいのではないかな等の意見が出されました。異常気象が続く中で、時期の決定には難しさがありません。

今回に懲りず来年度楽しい旅行が実施されますことを切に願っております。

# 北足立北部だより

高橋 俊 男

## ◇北足立北部定期総会

五月十二日(土)鴻巣市文化センター(クレアここのす)大会議室にて午後三時から開催された。出席者四十一名。来賓として鴻巣市教育委員会教育長武藤宣夫様にご臨席を賜りご祝辞をいただいた。

石原完会長より、七名の新会員が紹介され、代表として田代孝治新会員から挨拶があった。

議長に塩原博氏を選出し、議事が滞りなく進行された。石原完会長以下昨年度に引き続き役員として承認された。

- 会長 石原 完
- 副会長 清水保義 浦 和彦

以下各役員が承認された。

その後、平成三十年度事業計画案・予算案等が審議され可決した。引き続き、同室にて懇親会を行い、会員の親睦を深めた。参加者二十五名。

## ○正・副会長以下の役員

- ・幹事(長) 高橋俊男・(会計) 佐藤豊明・(庶務) 梅山健司
- (委員長) 小川久雄・山口秀之助・井原清子
- 井関由美夫(上尾班幹事長)
- 平賀健郎(鴻巣班幹事長)
- ・監事 原日出雄・柳川達郎
- ・理事 各委員会に表記

## ○第一回正・副会長・幹事会

六月十六日(土)鴻巣市文化センター(クレアここのす)

- 議題一 本年度の事業計画の具体化
- 二 予算執行について
- 三 委員会の活動内容と分担について

## ○第二回正・副会長・幹事会

### ○第二回理事会・委員会

九月八日(土)鴻巣市文化センター(クレアここのす)

- 議題一 各退職校長会からの報告
- 二 委員会の進捗状況について

## ○教育推進委員会

(長) 小川久雄・河合悦子・町田哲夫・田村文男・佐藤良・齊藤一彦・村尾章平

現職・退職校長研究協議会(十一月二日・鴻巣市文化センター)に向けての準備

## ○懇親旅行委員会

(長) 山口秀之助・川津美利・中野住衣・長谷川有司・福島美智代・田村均・海野正

九月三十日(日)〜十月一日(月)千葉県房総方面への旅行(二十九名参加)の予定であったが、台風二十四号の接近により中止となった。

## ○会報委員会

(長) 井原清子・前島百合子・長島素保・大野幸久・鶴木正彦・吉田順明・米田久仁夫  
会員だより第四十号発行に向けて企画・編集等

# 上尾班だより

井関 由美夫

## ○定期総会

四月十四日(土)上尾市文化センターで開催。上尾市教育長池野和己様、桶川市教育長岩田泉様、上尾・桶川・伊奈の各校長会長様のご臨席のもと、会員二十九名の出席で実施した。引き続き懇親会を行った。

新会員は二名で、会員総数百十一名である。(十月一日現在)

## ○三十年度の事業

- ①会員だより「あおい」第二十五号の発行
- ②会報第二十六号を三十一年三月発行予定

③班内退職校長(十一名)と上尾市現職校長(十七名)との懇話会を上尾小学校を会場に開催した。現職校長小学校一名中学校一名の発表があり、それに基づき協議した。

④班内各小中学校長に、通学区域在住の退職校長会員名簿を配布。

⑤会員研修は、ときがわ町と越生町の文化と自然、をテーマに十一月四日(日)にバスツアーを実施した。

慈光寺・龍穩寺・県最大の巨木である上谷の大クスを見学し、埼玉県の歴史・自然・文化への理解と関心を深めた。

⑥同好会では、彩光会(写真)とウォーキング会が、ほぼ毎月一回実施。

# 鴻巣班だより

平賀 健 郎

## ○定期総会

四月十四日(土)鴻巣市文化センターで開催。鴻巣市教育長武藤宣夫様並びに県副会長石原完様を来賓にお迎えし、会員三十二名の参加で実施。総会は円滑に終了しました。閉会后、会場を移した懇親会では、近況や教育の話題で親睦と交流を深めました。

新会員は五名で、会員総数は一三二名です。

## ○今年度の事業

- ①第一回役員会

六月十三日(水)鴻巣市笠原公民館にて開催。県と北部部会の活動報告並びに動向について報告があり、活発な話し合いがなされました。続いて班の研修会について今年度当番の鴻巣地区から提案がありました。

## ②研修会

九月十二日(水)班員の研修会を開催。「独立行政法人 造幣局さいたま支局」の見学会でした。造幣局の歴史、貨幣の製造工程と興味津津の研修で、特に日本で使われる勲章は全て熟練の職員による手作りで工芸的にも大変価値のあるものであることが分かりました。今後は各学校の社会科見学にも活用されることを願って見学会を終了。参加者は二十六名。その後の昼食会でも大いに盛り上がりました。